

【再就職援護】 Vol.3

少し前のことになりますが、弘前城雪燈籠まつりを見学してきました。陸上自衛隊弘前駐屯地協力隊員の手で造られた「弘前駅初代駅舎」はとても迫力があり、また、市民の皆さんが手掛けた雪灯籠や雪像も力作ばかりでしたが、今年の雪像は猫バスやトトロ、湯婆婆などジブリ作品が多かったように感じました。ジブリといえば2月は陸空自衛隊音楽隊による定期演奏会も開催されましたが、ここでも「もののけ姫」や「となりのトトロ」といった演奏が会場を魅了していました。年末年始にかけて青森では県立美術館において「ジブリパークとジブリ展」が開催され、週末は駐車場待ちの渋滞が発生するほどの盛況ぶりでしたが、自然との共生がテーマにある多くのジブリ作品は、八甲田や奥入瀬溪流といったジブリワールドを彷彿とさせる美しい自然を持つ青森に溶け込みやすい物語なのかもしれません。いつか「仮ぐらしのアリエッティ」の舞台のモデルといわれる平川市の盛美園にも足を運んでみようかと思っています。

さて3月は県内駐屯地を訪問して、令和6年度に退職した隊員の再就職援護に関する状況を部隊長の方々と共有しています。自衛官の定年は一般企業よりも早く、任期制隊員であれば20代半ばから、また若年定年制隊員であれば50代半ばから再就職することになります。地本では再就職を希望する隊員に対する教育や業種説明会、合同企業説明会の開催を通じて再就職に向けて自分を見つめ直す機会を設定し、隊員と隊員を雇用頂く企業様双方の期待に齟齬が生じないようにマッチングを行っています。退職自衛官の雇用についてご関心のある企業様がいらっしゃるようでしたら、ぜひ地本までお問合せください。